

## 今月の行事予定



13・27日 礼拝

3日 異年齢保育

発育測定(13日 うさぎ・いちご 14日 もも・さくら・ほし 15日あひる・ひよこ)

15日交通教室 16日 クッキー作り

17日 誕生会 25日 きらら運動会

28日 集金日 避難訓練



## 9月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園  
2021年 9月1日

### \*\*保育目標 報酬 ありがとう\*\*

- ・だれにでも、進んで「ありがとう」をいいます。
- ・ひとりひとりの「やりたい！」が発揮できる運動会を楽しむ。



### 「異年齢保育」

8月から異年齢保育が始まりました。3・4・5歳児の交流保育です。

第1～3回目までは、少人数のグループに分かれ、他のクラスに行き遊びます。お部屋の移動も自分たちでし、迎え入れるグループは遊び場の案内をしたり、それぞれに役割があり、活動が始まりました。いつもとは違うメンバーや、いつもとは違うお部屋という環境の中で、すぐに遊び始める子どもや、声をかけて誘ってもらうまでじっと待っている子ども、何かを見つけて遊びだす子どもと、様子は様々でした。同じクラスのお友だちと一緒に、トンボやカブトムシと触れ合ったり、ゲームや積み木、ままごとなど、好きな遊びを見つけて、あちらこちらでごっこ遊びも始まりました。中には恥ずかしそうに様子を見ているお友だちもいましたが、それぞれが時間いっぱい各々のスタイルで遊ぶ様子が見られました。

大きくなり社会に出ると、多様な人々とのかかわりの中での生活となってきます。小さなうちから異年齢のかかわりを通して得ることはたくさんあると思います。小さなお友だちのことに気づいてあげたり、また、年上のお友だちから刺激を受けたりする中で、自分の思いを素直に表現出来る場を確保していくことはとても大切なことなのです。こんな時間が少しずつ増え、「人とのかかわりが楽しいな、うれしいな、やってみたいな、出来なくて悔しかったな、手を貸してあげよう、あんなふうになってみたいな」など、異年齢活動が子ども達の中で、ドキドキ、ワクワクと心が動く経験となり、ひとりひとりの健やかな育ちに繋がるとうれしいです。



### お知らせ

- ・うさぎ組担任の、浅山保育士が、この度結婚し、上田となります。今後ともよろしくお願ひします。
- ・8月より保育士をめざしておられる綿屋先生に保育補助として勤務していただいています。よろしくお願ひします。

### 【法話】

#### 「お彼岸」

今年、異常気象の夏で、秋雨前線による豪雨災害のうえ、新型コロナも、お盆の移動の為か県内感染状況ステージ4となり、非常に厳しい状況です。より一層、感染予防にお互い留意し、不要不急の外出を避け、必要至急に限る生活を心掛けたいものです。

お彼岸は、「暑さ寒さも彼岸まで」と、昔から言われるように、春と秋の年に二回、一週間ずつあります。その一週間の真ん中の日を、彼岸の中日といい、現在では、春分の日、秋分の日という祝日になっています。ではなぜ祝日なのでしょう？ 昼と夜の長さが同じだから……太陽が真東から昇るから……？ 「国民の祝日に関する法律」には、秋分の日は「祖先を敬い、亡くなった人をしのぶ」とあります。昔からの仏教行事であるお彼岸の意義をくんで、祝日に定められているようです。

今の私のいのちがあるのは、数え切れない多くの先祖の方々がおられたからです。その多くの方々の大きなお徳を偲ぶ中で、私自身のいのちを考える日として定められているのが、お彼岸なのです。

日頃は、彼の岸(真実の世界)に目をそむけて、此の岸(迷いの世界)に生きている私達ですが、お彼岸に際し、少しでも私のいのちについて、真正面から考えてみたいものです。私自身の、いのちが、どこから来て、どこに行くのか、真剣に考えてみましょう。私の頭では、答えは出ませんし、仏教・仏さまの教えに尋ねる・御聴聞する以外、答えは見つかりません。俱会一処、また遇える世界に向かって、ともに生きていきたいと思ひます。

合掌

